

## 平成27年度 仙台大学大学院 授業概要

<b>授業科目名</b>	スポーツビジネス論特講 Sport Buisness (L.)	<b>担当教員</b>	マーティ・キーナート/笹生心太		
<b>領域水準コード</b>	C3	<b>単位数</b>	2	<b>履修方法</b>	選択
<b>授業の方法</b>					
講義					
<b>授業の概要</b>					
まず、我が国のスポーツ産業界全体の「見取り図」を提示し、その各領域の有する特徴を解説する。その後、特にスポーツ施設産業、スポーツイベント産業、プロスポーツ産業の各領域について具体的に解説する。また、我が国の状況を多面的に捉えるため、比較対象として諸外国のスポーツビジネス界の事情も適宜解説する。受講者は、講義内容を踏まえてこれらの産業に関する具体的な分析を行い、それを最終レポートの形で提出する。					
<b>授業の一般目標</b>					
我が国のスポーツ産業界全体の「見取り図」を、自分なりに描くことができるようになる。そしてその「見取り図」の中で、自分が特に関心のある具体的事例を選択し、それを分析できるようになる。					
<b>授業の到達目標</b>					
<input checked="" type="checkbox"/> <b>認知的領域</b>	スポーツ産業界の「見取り図」を描くことができ、「見取り図」の中の各領域の特徴を説明できる。				
<input checked="" type="checkbox"/> <b>情意的領域</b>	スポーツの、「体育」ではなく「産業」としての側面に関心を向ける。				
<input type="checkbox"/> <b>技能表現的領域</b>					
<b>授業計画(全体)</b>					
本講義は、教員が日本のスポーツビジネスの概況について解説したのちに、教員と学生で交互に文献の輪読を行う。受講者が強く関心を持っている領域について教員と討論することで、当該領域に関してより深い知識を得ることが目的となる。					
<b>授業計画(詳細)</b>					
回	授業テーマとその内容				
1	[テーマ]オリエンテーション(笹生) [内容]授業の目標と進め方、成績評価方法、最終レポート課題の提示	9	[テーマ]文献の輪読③(笹生) [内容]受講者の問題関心に沿った文献の輪読・討論を行う。		
2	[テーマ]スポーツビジネスの「見取り図」(笹生) [内容]我が国におけるスポーツビジネスの全体像について解説する	10	[テーマ]プロスポーツの現実①(キーナート) [内容]日本のプロスポーツの現実を解説する		
3	[テーマ]非日常における「見るスポーツ」(笹生) [内容]メガスportイベントなどの、非日常における「見るスポーツ」の現状について解説する。	11	[テーマ]プロスポーツの現実②(キーナート) [内容]日本のプロスポーツの現実を解説する		
4	[テーマ]日常における「見るスポーツ」(笹生) [内容]プロスポーツなどの、日常における「見るスポーツ」の現状について解説する。	12	[テーマ]プロスポーツの現実③(キーナート) [内容]諸外国のプロスポーツの現実を解説する		
5	[テーマ]日常における「するスポーツ」(笹生) [内容]商業スポーツ施設などの、日常における「するスポーツ」の現状について解説する。	13	[テーマ]プロスポーツの現実④(キーナート) [内容]諸外国のプロスポーツの現実を解説する		
6	[テーマ]非日常における「するスポーツ」(笹生) [内容]スポーツツーリズムなどの、非日常における「するスポーツ」の現状について解説する。	14	[テーマ]プロスポーツの現実⑤(キーナート) [内容]プロスポーツの全体を解説する		
7	[テーマ]文献の輪読①(笹生) [内容]受講者の問題関心に沿った文献の輪読・討論を行う。	15	[テーマ]総括(キーナート) [内容]これまでの講義を総括する		
8	[テーマ]文献の輪読②(笹生) [内容]受講者の問題関心に沿った文献の輪読・討論を行う。	16	[試験または課題]レポートの提出 [方法]講義内容の理解度を問う記述式のレポートを課す		
<b>授業外学習の指示等</b>					
上述のように、授業外にこの分野に関する文献を読み、それをまとめ、発表することが求められます。具体的な文献については後日指示しますが、いずれにせよ「教科書」のようなものではなく「専門書」を読んでもらいます。よって、この分野に関する関心があることはもちろん、それ以上になじみのない文献を読み通す力も問われますので、あらかじめ了承してください。					
<b>成績評価方法(方針)</b>					
出席状況、受講態度、期末レポート					
<b>成績評価方法(詳細)</b>					<b>履修上の注意(受講に当たって学生に望むこと)</b>
到達目標	認知的領域	情意的領域	技能表現的領域	評価割合(%)	1. スポーツビジネスに関わる文献の輪読が求められます。それはもちろん、外国籍学生にとっても同様です。付属図書館を活用して入手するようにしてください。 2. 学会への参加情報を積極的に提示します。アカデミックな世界と一般社会とのちがいを肌で感じてください。その経験は、将来、どちらの世界に進んでもきっと役に立つはずですよ。 3. 質問は大歓迎です。分からないことを分からないという分別が大学院生には求められます。下記のオフィスアワーに研究室を訪ねてください。 4. この分野になじみのない院生には膨大な復習が要求されます。なじみのない学問領域の考え方を「おもしろい」と感じられる力が求められます。
定期試験(期末試験)					
小テスト・授業内レポート	○	○		40%	
授業外のレポート	○			30%	
ポートフォリオ					
出席	○	○		30%	
その他					
<b>関連科目</b>					
<b>教科書</b>			<b>参考書</b>		
適宜指示する			適宜指示する		
<b>連絡先</b>					
永田研究室:A棟3階					